

～検査方法特許出願中～

～究極～

ATFチェック

オートマの摩耗が
ひと目で分かる！

ATFチェックの新基準

コンタミチェッカー

ATF



CHECKER

オートマ
検査

ATFコンタミチェッカー

「コンタミ」とは「contamination(不純物)」=摩耗粉を意味します

オートマ専門工場発！8000台/ントラブルの実績！

～ご安心下さい～

- ・ATF交換可能！
- ・ATの状態は良好！
- ・安心のカーライフ
- ・安心の継続車検



フィルターがきれい



フィルターが変色

～要注意～

- ・ATF交換危険
- ・AT異常摩耗発生
- ・ユーザーへ注意喚起
- ・新車乗換えの提案

ATF交換？

鉄粉？

AT寿命？

大丈夫？



何はともあれコンタミチェック！

- ・ATトラブルの主原因「異常摩耗」を簡単にチェック
- ・小さなコストでATFの売上アップ
- ・ATF交換によるトラブルを徹底回避
- ・ATの状態を的確に把握、顧客満足度大幅アップ
- ・短時間で簡単作業(標準作業時間:3～5分)

～チェック方法はとても簡単～

付属のハンドポンプ/トラップカップ/専用フィルター/吸引ホースを接続。
レベルゲージパイプから少しATFを抜き取り、専用フィルター内に残ったATFを
エア(付属の注射器もしくはエアガン)とパーツクリーナーで飛ばします。
あとはフィルターを目視チェックするだけでAT内部の異常摩耗を簡単に判別できます。

販売店:



- キット内容
- ・ハンドポンプ
 - ・専用フィルター20ヶ
 - ・トラップカップ
 - ・取扱説明書
 - ・吸引ホース1.5m
 - ・プラスチックシリンジ
 - ・ビニールホース

製造/発売元:株式会社新生製作所
大阪市平野区加美北5-2-35

～AT内部の異常摩耗が検査可能になります～

「コンタミチェッカー」では、これまで不可能であった～AT内部の異常摩耗～の検査を可能にしました。
 ～AT内部の異常摩耗～はATトラブルやATF交換に関する最も重要な判断材料となります。
 「コンタミチェッカー」の検査結果は以下の内容を意味します。



AT本体のトラブルには、ほとんどの場合多板クラッチをはじめとする、摩擦材の異常摩耗が関連します。この「異常摩耗」という重要な判断材料を得ることで、次のような効果が期待されます。

ご提案その①ATF交換のお勧めに…

ATF交換の判断で「ATFが黒い」や「走行距離が多い」というのは非常に大雑把な判断材料に過ぎません。ATF交換後に起こるATトラブルの主な原因は「摩擦材の異常摩耗」です。「ATFが黒い」や「走行距離が多い」という車でも「異常摩耗」さえなければATF交換後に大きなトラブルが起こることはありません。

ご提案その②ATF交換後のトラブル回避に…

定期的なATF交換していれば当然ATFは赤みが保たれます。「ATFが赤い」「走行距離が少ない」からといって安心は出来ません。ATFが赤くても「異常摩耗」が起こっていれば大きな危険がひそんでいます。

ご提案その③ATトラブルシューティングの時間短縮に…

「AT本体が悪いのか?」こんな悩みを抱えることも少なくありません。真の原因が何であれ「異常摩耗」していれば「AT本体も悪い」のは明白です。あれこれ悩む時間も削減できます。

ご提案その④お客様へより有意義な提案を…

「車検受けたばかりなのにATが滑りだした…」というような事例も少なくありません。AT修理の費用負担は大きくお客様の満足度低下を招く恐れがあります。車検時に「異常摩耗」をチェックしておけば…

「異常摩耗あり」…「新車乗換えのお勧め」「異常発生時の早期入庫」

「異常摩耗なし」…「ATF交換のお勧め」「継続検査のお勧め」

というようにより有意義な提案が可能となります。

これからの常識

ATFが黒い＝コンタミチェックOK＝ATF交換可能
 走行距離が多い＝コンタミチェックOK＝ATF交換可能
 ATFが黒い＝コンタミチェックOK＝AT良好
 走行距離が多い＝コンタミチェックOK＝AT良好

これまでの常識

ATFが黒い＝ATF交換不可
 走行距離が多い＝ATF交換不可
 ATFが黒い＝ATが摩耗している
 走行距離が多い＝ATが摩耗している

「ATFコンタミチェッカー」はATトラブルの主原因である「異常摩耗」のチェックを可能にしました。これまで見極めきれなかった「異常摩耗」は、AT関連の整備・メンテナンスにおいて非常に重要な判断材料となります。AT異常には電磁部品の故障をはじめ突発的な故障もありますので「コンタミチェッカー」の検査結果はATF交換後のノトラブルを保証するものではありませんが、「コンタミチェックの結果」と「AT分解チェックの結果」を照らし合わせながら多くのデータを背景としておりますので、「異常摩耗」を見極めるには十分な精度を備えております。これまでの経験や、走行状態・ATF交換歴を含め「コンタミチェックの結果」を重要な判断材料としてご活用くださいませ。